

質問者 鈴木 公 義

質問事項	質問の要旨
1 岸壁の高さを修正すべきでは	<p>東日本大震災から3年になり、町内の漁港などの復旧工事が着々と進められているところです。護岸、岸壁などは沈下した分を嵩上げし、震災前の高さに復旧するというのですが、明らかに船への乗り降りに支障が出るくらいの高さになっているところが見受けられます。これから水産物の水揚げも本格化し、ますます不都合が顕在化して来るものと思われ ます。町としては間違いなくデータにのっとり事業を進めているということでしょうが、何かが違う ています。</p> <p>地震によって沈下した分がこの3年間で少しずつ戻っているという見方もあり、震災後に一度調査したデータをもとに数年後に工事をした結果、戻った分が高くなっているということがあり得ます。工事が終了したところはしょうがないとしても、まだ間に合う部分は本来の高さに修正して工事すべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>また、工事が終了した部分に、はしご等の落水者対策をすべきと考えますが、併せて見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>